

青春サポート

2017
PTA 会報誌

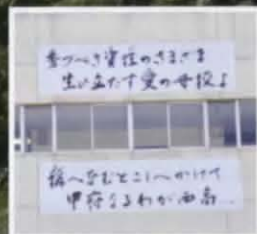
for parents

山梨県立甲府西高等学校
Kofu Nishi High School

Instage

Topics

- 健康の森ウォーキング
- 秋の交通安全指導
- PTA進路講演会
- 授業公開
- フードドライブ
- 鳳凰祭制服リサイクル
- 部活動サポート
- 関東高P連大会
- 全国高P連大会
- PTA会長挨拶
- 校長挨拶



平成29年度PTA活動

- 鳳凰祭制服リサイクル
- PTA進路講演会
- フードドライブ
- 秋の交通安全指導
- 健康の森ウォーキング補助
- 全国高P連大会・関東高P連大会参加

共に歩み、共に語る

西高の parents & teachers

ウォーキング大会 保健体育委員長 一瀬浩士

秋の暑い暑い一日。

甲府西高第21回ウォーキング大会が、10月11日の秋晴れ?夏日をおもわせる気温の下で開催されました。

今年は、移動検印所だったのを第二検印所として変更し給水ポイントとしました。当日、気温が上がったので給水が出来てよかったと思いました。また、今年は初めて役員以外の3年生保護者にも協力して頂きました。保護者には、普段見せない子供の姿が見られたのではないかと思います。

委員長をさせてもらい、暑い気持ちの生徒達と一体となるチーム西高の保護者、先生方のアドリブのきいた対応のお陰で無事に終わった事を感謝いたします。



たかがあいさつ されどあいさつ 生徒指導委員長 小松利也



9月20日朝、年一回の登校指導に参加しました。とはいえできることは、ひたすら笑顔であいさつするだけです。

流れるような自転車たち。時々危ない場面も見られました。そんな慌ただしい中ではあっても生徒さんたちはしっかりあいさつをくれるんですね。他校の生徒さんも同様です。ある生徒さんは、ペダルをこぎながらもこちらの目を見てにっこり笑顔であいさつをくれました。これは気持ちがいい。「あなたのおかげで私はとてもハッピーな気分その日を始めることができました。ありがとう」言動は他者の心に触れます。たかがあいさつ、されどあいさつ。人として大切なことですね。大人も、子供も。

受験生をもつ親として 進路福祉委員長 中込美加奈

8月19日に保護者を対象としたPTA進路講演会を開催しました。本年度は駿台予備学校立川校の目黒先生と進路指導主事の早川先生が講演をして下さいました。1・2年次対象と3年次対象の2部制で行い、合計で209名と大勢の方がご参加下さいました。

講演会では受験生が保護者にしてほしい、逆にしてほしいと感じている事や大学入試を乗り切るためのポイント、スケジュール、留意点等、役に立つお話をたくさん伺う事ができました。保護者の協力を子供達はまだまだ必要としています。子供としっかり話し合い、支え、見守ってあげたいと改めて感じた一日でした。



授業公開を参観して 1年次副部長 清水美希

4月、5月に1年生の二度の授業公開が行われました。両日も、多くの保護者の方が熱心に授業を参観されており、学校・そして子供たちへの関心の高さにとっても驚きました。

生徒たちは、保護者の目も気にならない様子で、主体的に、そして真剣に授業に取り組んでいました。短い期間のうちにすっかり高校生らしく成長していることが感じられました。

これから、先生方の熱心なご指導の下、それぞれの夢に向かって高校生活を過ごしていきますが、家庭でも頑張っている子供たちをしっかり見守っていただきたいと思います。

去る8月19日開催のPTA進路講演会に合わせて、昨年度に引き続き、ご家庭から食料品などを持ち寄る「フードドライブ」を実施しました。

後日生徒の皆さんを通して届けられた分を含め、本年度は段ボール箱にして12箱ほどの食料品類(缶詰、お菓子、レトルト食品、乾麺など)が集まり、生徒会を通じてNPO法人フードバンク山梨にお届けすることができました。

ご協力頂きました各ご家庭に御礼申し上げますとともに、教育の場で「食品ロスと食のセーフティーネット」という社会問題に触れる機会を与えて下さった先生方に感謝申し上げます。



成長を見つめて

部活動サポート

自分と向き合って

3年次保護者 山内けい子

息子は1年次の時、中1の時から在籍した将棋のプロ棋士への登竜門である奨励会を退会しました。まだ早いのでは?と周囲からは言われましたが、本人の意思を尊重しました。退会の決断に至るまで、本当の自分はどうしたいのか?と一生懸命内なる自分と向き合っていたように思います。2年次からは将棋部に所属し、顧問の先生方や気の合う仲間達に恵まれ、心から将棋を楽しんでいました。夏の全国大会では5位に入賞し、晴れやかな顔で帰ってきたのが印象的でした。これからも自分自身と向き合う機会が何度も訪れると思いますがこれまで通り自分を信じて歩む道を決めていってほしいと思います。



「勉強と部活の両立」

3年次保護者 末木めぐみ

入学してまもなく「野球部のマネージャーをやる」と言ってきた娘。主人も私も反対はしませんでした。心配はしました。自分の事も満足にできないのに人の為に尽くす事が娘に出来るのか、勉強と部活の両立が出来るのか。

しかし、娘の高校生活は毎日が充実しているように感じました。眠い目をこすりながら机に向かい、友達と遊ぶ時間も無い。「マネージャー大変じゃない?」と聞くと「選手よりは大変じゃないし、楽しい」と言って頑張っている娘。自分より選手の事を心配する娘に成長を感じました。西高は課題が多くて大変とよく耳にしますが、その課題があったからこそ、娘は勉強と部活との両立が出来たのだと思います。



制服リサイクル

女性部長 鷹野きみ子

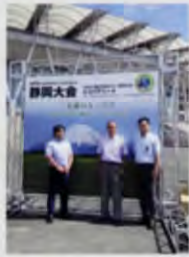
新しい制服になって5年目、リサイクルの制服を入手できる対象者が1・2年になりました。卒業生から制服を寄付していただいています。

一例を挙げますと、ポロシャツ・ワイシャツが200円、学ランや女子ブレザーを500円で販売しています。ポロシャツ・ワイシャツが複数あると、修学旅行の際おしゃれな女子が毎日着替えることができますし、雨が降っても母の心に余裕が生まれます。

知名度が低いのですが、毎年鳳凰祭2日目午前中、南館2階の教室で開催しています。



「有徳の人」づくり～未来のために行動する「一人」育てよう～ PTA副会長 宮川 親



8月24日から8月25日、「有徳の人」づくりをメインテーマに、静岡県小笠原山総合公園エコパをメイン会場に第67回全国高等学校PTA連合会大会静岡大会が開催され、甲府西高校PTAとして齊木校長先生、末木PTA会長とともに参加させていただきました。

大会1日目は、「戦国武将に学ぶ子育てと人づくり」をテーマに静岡大学名誉教授小和田哲夫先生の基調講演を聴き、その後第2分科会ではネットトラブルの予防と対策と題して静岡県立磐田高等学校PTA会長、静岡市立清水桜ヶ丘高等学校の3年生の生徒を交え、スマホ等の利用に関しパネルディスカッションが行われました。

テーマの「有徳の人」とは個人として自立した人、人とかかわりを大切にする人、より良い社会づくりに参画し、行動する人を意味するとのことでした。

大会を通して人づくりについて考える内容になっており、我々PTAも親として、社会の一員として人を育てる(育成する)ことの大切さを考える良いきっかけになる大会でした。

「PTAとして出来ること」 PTA会長 末木 克巳



日頃よりPTA活動へのご協力に心から感謝いたします。

PTA会長を仰せつかり半年が過ぎましたが、今でも「なぜPTA役員になったの?」と聞かれる事があります。私は「学校でも子供の役に立ちたいから」と答えます。「伝わらなくてもいいから何かしたい」という気持ちです。その気持ちと行動が自分の子供に直接伝わらなくても、その友達や後輩に伝わるかもしれない。学生達に伝わらなくても、保護者に伝わるかもしれない。そんな気持ちでPTA活動をしています。

私は高校生という年代が人生の中で一番優れている時ではないかと考えます。体は鍛えれば鍛えるだけ強くなり、頭の回転は速くスピードで知識を増やしていく。そんな子供達の素晴らしい成長に近くで関われる事をとても嬉しく思っています。私達PTAに出来ることは限られますが、皆さまの力をお借りしながら一生懸命活動していきますので引き続きご協力の程よろしくお願いいたします。

ささやかなこの人生 校長 齊木 邦彦



39年前に西高を卒業した私は、大学に合格できないまま東京に出て〇〇予備校に入学しました。友だちに出遅れたことにもめげず自分は自分という落ち着いた気持ちで過ごすことができ、自分の力で生きているという実感を持って一年間でした。一度失敗してもそこから立ち上がり、不安を抱えながらも最善を尽くして頑張れる、というそれまで気づけなかった自分の底力への信頼も生まれました。

これが私の今日までの「ささやかなこの人生」を支えてきました。人生は振り返れば今の自分まで続く一本の道になっています。この道はその時々自分が悩みながら懸命に歩いてきた道です。この道を今もそしてこれからも一歩ずつ歩み続けるしかないと思います。

私よりずっと若い後輩の今の西高生には、自分の時間の積み重ねを大事に、将来のことや大学入試を不安に思いながらも、まずこの一時間無心で机に向かう、そういう潔い姿勢を望みます。うまくいったりいかなかったりを繰り返す長い人生です。どんな状況でも自分を信じて今日の一步を踏み出すことが大切なのだと考えます。

数少ない機会ですが私はこのような話で西高生を励ましていきたいと思っています。ご家庭におきまして、それぞれの親子関係、またご家庭の状況の中でお子さんを励まし続けてください。生徒諸君の持てる力が、たとえゆっくりとしたペースでも、いやゆっくりとしたペースだからこそ強く確実に伸びていくことを期待します。(PTA進路講演会あいさつより)

聞くことで学び行動する PTA副会長 前田友也

7月7日～8日、「心ふれあうしなやかな人づくり～学び行動するPTA～」をメインテーマに、関東各県から約4,500名が集い横浜市のパシフィコ横浜にて開催されました。初日の記念講演は、テレビでお馴染みのフリーアナウンサー羽鳥慎一さんが「聞くちから、話すちから」と題してお話してくださいました。インタビュー形式によるトークショーのような講演でその手法に新鮮味を感じました。何本もレギュラー番組をこなす羽鳥さんのトークは素晴らしく、随所で軽妙に笑いを交えながら、話すことの大切さ、話すためにはまず聞くことの重要性について思いを深めた内容でした。2日目は第2分科会「進路指導とPTA」へ参加しました。栃木県立今市高校と本県の北杜高校から提案発表があり、それぞれの学校の校風を生かした進路指導の取り組みが行われていることを知るとても良い機会でした。



編集後記

PTAの皆様のご協力により、2017PTA会報誌「n・stage for parents」を発行することが出来ました。公私にわたりお忙しい中をありがとうございます。

本年4月よりPTA総会、授業公開、交通指導、進路講演会、ウォーキング大会等が行われました。PTA役員の皆様、保護者の皆様のご理解とご協力により成功裏に終えることが出来ました。今後の活動においても、保護者の皆様と共に歩み、共に語り合い、本校の教育活動をより豊かなものにしてまいりたいと思います。

青春サポート
2017
PTA 会報誌
for parents
n・stage

〒400-0064 山梨県甲府市下飯田4丁目1-1
TEL:055-228-5161 FAX:055-228-5164
URL <http://www.nishi.kai.ed.jp/>

発行日/2017.10 編集/西高PTA